

福祉の **かさまつ** 社協



第206号

令和6年3月1日

〒501-6063
 岐阜県羽島郡笠松町長池408-1
 TEL (058) 387-5332
 FAX (058) 387-5134
 E-mail: kasafuku@ccn5.aitai.ne.jp
<https://userweb.alles.or.jp/kasafuku/>

編集・発行／社会福祉法人 笠松町社会福祉協議会

被災された方々の1日も早い復興を願って… 「能登半島地震災害義援金」
 わたしたちに「いま」できること



岐阜県共同募金会笠松町分会では、ボランティアグループKind、本会役職員により、町内のスーパーなどで義援金の街頭募金活動を行いました。

目次

- ◆災害義援金街頭募金活動 1
- ◆行事だより 2、3
- ◆情報の森 4
- ◆ボランティア情報など 5
- ◆地域包括支援センターだより 6
- ◆福祉メッセージ 7
- ◆あたたかい善意のころなど 8

令和6年能登半島地震 災害義援金街頭募金 報告

1月13日(土)	
ヨシツヤ笠松店	68,580円
トミダヤ笠松店	101,155円
ピアゴ笠松店	96,274円
1月16日(火)	
名鉄笠松駅	51,823円
計	317,832円

行事だより

ふれあいいきいきサロン特集 ～歳末たすけあい配分金事業～

12月から1月にかけて町内のサロンでクリスマス会などが行われました。サロンではオカリナ演奏会や、クリスマスの飾り作り、子ども達との交流会などが開かれ、楽しめました。

また、本会職員もサンタクロースに扮し、参加者に入浴剤のプレゼントを渡しました。

サロンの参加者からは「子ども達と交流する機会は滅多にないから嬉しい」などの声が聞かれました。

町民の皆さんからいただいた「歳末たすけあい募金」でサロンへの助成を行っており、今回7つのサロンにご利用いただきました。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。



善光寺サロン



きたきたサロン

共同募金及び災害義援金へのご協力ありがとうございます

町内の個人・団体の皆さんからも多くの災害義援金をお寄せいただいています。ご協力いただきました皆さん誠にありがとうございました。お寄せいただいた義援金は、全額各県の義援金配分委員会において配分が決定され、各市町村を通じて被災者の皆さんに届けられます。

また、笠松町二十歳の集い会場でも実行委員会の皆さんによる義援金活動が行われ、集まった義援金は笠松町分会でお預かりし、指定のあった七尾市へ送金させていただきました。

災害義援金寄付者一覧 12月13日～2月13日 (順不同・敬称略)

令和6年能登半島地震災害義援金(中央共同募金会扱い 各県の被災状況により按分)

・朝日 喜義	10,000円	・こどもだれでも食堂なおちゃん	17,051円
・LeaLeaウクレレサークル&ごはん居酒屋いろんなん	26,000円	・毎週ウォーキングクラブ224	20,800円
・ごはん居酒屋いろんなん	8,715円	・瓢町町内会	25,000円
・匿名 2件	15,000円		
・福祉健康センター義援金箱	16,246円		

令和6年能登半島地震災害義援金(石川県)

・田代中町内会	100,000円
・匿名 4件	227,385円

令和6年能登半島地震七尾市災害義援金

・笠松町二十歳の集い実行委員会	33,333円
-----------------	---------

福岡県令和5年7月豪雨災害義援金

・福祉健康センター義援金箱	200円
---------------	------

引き続き、岐阜県共同募金会笠松町分会では災害義援金を受付しております。ご協力いただける方は、本会(長池408-1 福祉健康センター内)へお願いいたします。

令和5年度共同募金最終報告

皆さんのおかげをもちまして、たくさんの募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。

赤い羽根募金 2,637,760円 歳末たすけあい募金 685,135円

匿名 10,000円 赤い羽根自動販売機募金(岐阜県地方競馬組合) 20,187円



二十歳の集い実行委員長 荻田光翔さん(右)と
本会 森社会長(左)

「令和6年能登半島地震」の被災地支援活動

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地支援活動として、石川県社会福祉協議会から岐阜県社会福祉協議会への要請に基づき、珠洲市社会福祉協議会へ令和6年1月28日(日)から2月4日(日)まで本会職員1名を派遣しました。

～被災地支援活動を通して～



〈珠洲市の現状〉

人口約12,000人、高齢化率52%を超えた市であり、最大震度6強の地震により津波や土砂災害など市内の住家に壊滅的な被害をもたらし、道路も地割れや隆起、液状化の被害が多い状況でした。ライフラインは電気が一部復旧しているものの、水道は目処が立っておらず、金沢以南、県外などへの広域避難が進んでいます。一方、指定避難所や集会所、ビニールハウス、車中泊など自主避難をされている方、停電が復旧したことにより損壊した自宅に戻られている方などもおり、被災地では今後、孤独や孤立などによる災害関連死の増加が危惧されていました。

「命を守る」ための訪問活動、そして災害ボランティアの受入れ開始へ

緊急車両のサイレンが鳴り響く中、珠洲市社会福祉協議会職員と在宅避難されている方のお宅へ訪問し、生活相談をはじめ、水やカイロなど支援物資の配付、制度や各相談窓口の紹介など情報提供を行いました。

被災された方からは「いままで家を守ってきたけど、さすがにもう頑張れない」「家がつぶれてしまった人もいるので私はまだ…(我慢する)」「倒壊した家から貴重品を取り出したい」「雨漏りしているがまだ業者が来ない」「次、地震が来たらと思うと不安で…」などこれからの生活の不安や悩みを涙ながらに話される方が多くいました。2月3日(土)からは災害ボランティアの受入れも開始し、被災者宅の片付けや仮置き場への災害廃棄物の運搬なども始まりました。

支援活動を通して、改めて当たり前の日常に感謝するとともに日ごろからの地域のつながりや災害時でも「できるだけふだんに近い生活」が送れるよう日ごろからの備えの大切さを感じました。

被災地域の1日も早い復興をお祈りするとともに、これからも自分たちが被災地のためにできることを考えていきます。



ふくし体験教室

ふくし体験教室は、小学5年生から中学生を対象に、7月～3月(全8回)の期間にさまざまな「福祉」について学ぶ教室です

2月3日(土)に、福祉会館にて第7回ふくし体験教室を開催し、小中学生7人が参加しました。今回は「盲導犬とふれあおう～補助犬ってなあに?～」をテーマに、中部盲導犬協会の佐藤さんと盲導犬のエーデルにきていただき、盲導犬が実際に介助をしている姿を見ながら、目の見えない方の日常生活を手助けする盲導犬の役割について学びました。参加者からは、「目がみえない人にとって、もうどう犬は、体の一部となる大切な人生のパートナーということがわかった。」などの感想がありました。



笠松駅までみんなでお見送り

4人の「介護予防リーダー」が誕生しました♪

1月22日(月) 令和5年度「介護予防リーダー養成講座」の修了式を行いました。

全7回にわたる講座で4人の方が修了し、平成30年度から実施している講座も46人の方が修了となりました。

講座では、音楽に合わせたストレッチ体操、運動と認知課題(脳の体操)を同時に行うコグニサイズ、運動をする際に気をつけることなどを学びました。

修了したリーダーさんには、健康づくり、地域づくりのために、介護予防活動を行っていただきます。



理学療法士の先生から正しい姿勢を学びました



タオルを使った「笠松体操」の練習

情報の森

いろいろな情報の木が生えた、かさまつ社協事業の森へようこそ。

かさまつ町民の“エンジョイ”を応援してくれる情報をピックアップし、ご紹介します。気になる木が、きっとあるはず。新鮮な驚きや発見に出会えるトクする情報満載です。あなたも参加しませんか？

地域デビュー講座開催します ～福祉教育から地域デビュー～

本会では、学校や団体、企業などで「車いすの介助の方法」や「高齢者疑似体験」などの「ふくし出前講座」を実施しています。

本講座では、出前講座と一緒に協力いただき、受講者に正しく安全な体験ができるようお手伝いしていただくボランティアさんを募集します。

地域の方々とながら、地域に出る「きっかけ」にいかがですか？

日 時 3月19日(火) 午前9時30分から午前11時30分

会 場 福祉健康センター 3階 会議室

対 象 ボランティアに興味・関心のある方
平日に活動できる方

定 員 10人

内 容 町内における福祉教育の現状
高齢者疑似体験や車いす体験の実施方法習得

持 ち 物 内履き・飲み物

申 込 み 3月14日(木)までにお電話ください



デビュー講座の様子(高齢者疑似体験)

思い出のランドセルギフト

今年も卒業式の季節が近づいてきました。そこで、小学校を卒業される方や使われなくなったランドセルをお持ちの方は、ランドセルの寄付をお願いします。送料として2,500円もしくは、書き損じはがき79枚(63円はがきの場合)が必要となります。寄付いただいたランドセルは「公益財団法人ジョイセフ」を通じて海外(アフガニスタン)へ届けられ、子どもたちが学校へ通うきっかけとなり、教育を受け自分や家族の健康を守る知識や情報を学ぶことができます。皆さんのご協力をお願いいたします。

※海外輸送費の高騰等により、令和6年3月1日より送料が変更となっています。

公益財団法人ジョイセフのホームページ

(https://www.joicfp.or.jp/jpn/donate/support/omoide_ransel/) もご覧ください。

問合せ先 笠松町社会福祉協議会 ☎387-5332





ボランティア情報

笠松町ボランティアセンター
☎387-5332 FAX387-5134
長池408-1 福祉健康センター内
8:30~17:15(土・日・祝祭日は休み)

新たに4人の広報(カメラ)ボランティアが誕生しました!

12月9日、16日または24日(全2回)、「広報活動(カメラ)ボランティア養成講座」を開催しました。全日本写真連盟中部本部 参与 可児幸彦氏(フジ写真館)を講師として招き、第1回は魅力的な写真が撮れる“プロに学ぶ写真撮影のコツ”について教えていただきました。第2回は「ふれあいいきいきサロン」で行われているクリスマス会の会場内で実際に写真撮影を行いました。参加された皆さんからは「10年以上写真と遠ざかっていたので久しぶりで良かった」「新しい人と知り合いになれた」など感想をいただきました。参加された皆さんの今後のボランティア活動に期待しています。



学んだコツを活かして撮影(金池サロン)

ありがとう
ございます

使用済み切手などの収集活動にご協力いただき、ありがとうございます。
12月13日~2月13日(順不同・敬称略)
(株)ノーベル、リバーサイド笠松園、笠松町シルバー人材センター、匿名10件

ないす♡
はあ~と

笠松町心身障害者小規模授産所

☎387-2469 長池237 メール kasaju@ccn5.aitai.ne.jp
HP https://peraichi.com/landing_pages/view/ksj2012

ご寄附をいただき、ありがとうございます

12月1日(金)、笠松町赤十字奉仕団松枝分団様よりタオル21枚をご寄附いただき、授産所利用者へのクリスマスプレゼントにしたり所内で利用させていただくことにしました。また、トヨタL&F中部株式会社様(愛知県名古屋市)より車いす1台をご寄附いただき、外出する際などに利用させていただきます。

笠松町心身障害者小規模授産所は、地域の方々から様々な寄附をいただいたり、アルミ缶回収にご協力をいただいたりと、多くの方に支えられ大変感謝しております。これからも地域の皆さんとの交流を通して、社会的自立及び生活の向上を図って参ります。



タオルをいただきました

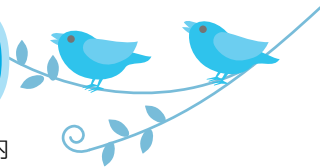


いただいた車いす



授産所ではアルミ缶の回収をしています。アルミ缶は水洗いをし、潰さずにお持ちください。また、スチール缶や瓶などが混入しないようにご協力をお願いします。

地域包括支援センターだより



笠松町地域包括支援センター ☎388-7133 FAX387-5134 長池408-1 福祉健康センター内

❁ フレイルチェック会を行いました ❁

1月28日(日) 笠松中央交流センターでフレイルチェック会を行い49人が参加しました。チェック会では、専門職によるフレイル予防の講話として、松波総合病院の大久保理学療法士、笠松町役場健康介護課の伏屋管理栄養士、三輪歯科医院の浅川歯科衛生士により、筋力低下、低栄養、口腔機能の低下についての話を聞きました。講話の後には、介護予防リーダーによる準備体操を行いました。そして、おおかわ整形外科の富成理学療法士にもご協力いただき、全身の筋肉量を表すといわれる握力やバランス能力をみる開眼片足立ちなどを測定しました。参加者からは「自分の身体のことを知りたかったので、測定できてよかった」など感想がありました。今後もフレイル予防のための取り組みを続けていきます。

※フレイルとは健康状態と要介護の状態の間の虚弱な状態にあることをいいます。早期に発見し対応すれば改善していくといわれています。



講話の様子



リーダーさんと楽しく準備体操!



皆さん熱心に取り組まれました

❁ 脳元気測定会を開催しました

1月30日(火) 福祉健康センターで脳元気測定会を行い16人が参加しました。専用のDVDを観ながらのテストを受けていただき、脳の健康度をチェックしました。参加された皆さんには個別で結果をお届けしました。結果につきましては、ご本人の判断のもと必要に応じてご相談させていただきながら認知症の予防に活用させていただく予定です。

❁ 認知症サポーター養成講座を開催しました

2月1日(木) 笠松中央交流センターで民生・児童委員を対象に認知症サポーター養成講座を行いました。講座では、認知症の理解や対応について学び、講座修了後には認知症サポーターの証となる、オレンジリングと認知症サポーターカードを配布しました。

認知症サポーター養成講座は、企業や学校への出前講座も可能です。ご希望の際は本センターまでお問い合わせください。

❁ ふれあい喫茶出張型を終えて ❁

ふれあい喫茶は、レクリエーションを楽しみながら、素敵なひと時を過ごしたり、介護等の相談も行える場です。笠松、松枝、下羽栗の3地域で毎月各1回、地域のサポーターさん達と協力しながら開催しています。

9月から笠松地域で開催の「ふれあいいきいきサロン」へ介護や福祉の専門職が月替わりで4カ所のサロンに出向き、参加者とお話をしながら、介護の相談や情報交換を行いました。「家族のことで困っている」「今は元気だけど今後が心配」など、様々な相談がありました。本人、家族が抱え込むことなく、気軽に相談できる場を今後、他地域でも展開していきます。

毎月のふれあい喫茶も開催しています。お気軽にご参加ください。詳細は、「広報かさまつ」をご覧ください。か本センターまでお問い合わせください。



介護相談コーナーの様子

福祉メッセージ 大賞・優秀賞・佳作作品発表 赤い羽根共同募金配分事業

受賞された皆さんおめでとうございます。今年度も「福祉」への想いを100字に込めた「福祉メッセージ」に、町内の小・中学生より555点の作品が寄せられました。どの作品もすばらしく、優劣がつけがたいのですが、福祉メッセージ審査会にて作品を選考し、表彰しました。

大賞・優秀賞・佳作に入賞された皆さんの氏名・作品をご紹介します。(原文のまま・敬称略)

小学生・高学年の部

大賞 『家族に伝える「昨日のありがとう」』

松枝小学校6年 若曾根 莉穂

朝食の時、家族に「昨日のありがとう」を伝えています。続けていくと、家族に色々なことをしてもらっていると気がつきました。これからは、もっともっと家族の役に立つことをしたり、自分から行動したりしたいです。

優秀賞 『うれしかった夏祭り』

笠松小学校5年 長屋 克彌

夏祭りで、かき氷作りが最初はうまくできなかったけど、おしえてもらって出来るようになりました。それを地いきの人にわたしたらすごくよろこんでくれました。ぼくも、とてもうれしかったです。

優秀賞 『あったか言葉』

下羽栗小学校6年 谷 実優

「ありがとう」「大丈夫?」「がんばって」私はクラスの皆があったか言葉を使って話せるように、ふれあい委員として日々よびかけをしています。いつか学校があったか言葉であふれるようにこれからもつづけたいです。

佳作 『いじめをなくそう』

笠松小学校4年 高橋 希

本でしようがいのある方は、いじめられやすいことを知りました。いじめはだれに対してもしてはいけない事だし、みんなとちがうからという理由でいじめのもダメだと思います。だから、いじめのない世界にしたいと思いました。

佳作 『魔法の笑顔』

松枝小学校6年 古田 楓

6年間。長い日々通った同じ通学路。私はそんななにげない登校時間にある“感謝”を発見しました。それは、毎朝笑顔で「おはよう」と言ってくくださるふれ合い隊さん。どんなに悲しい時でも私はいつも魔法の笑顔に救われました。

佳作 『ぼくの大切なひいおじいちゃんといいおばあちゃん』

下羽栗小学校4年 大川 慎之助

ぼくは、毎日ひいおじいちゃんといいおばあちゃんの家に行きます。この前は、「大きな声で話してくれるからきこえやすいね」と言われてとても気持ちがよかったです。長生ができるようにくふうをしたいと思います。二人とも大切です。

中学生の部

大賞 『元気の源』

笠松中学校2年 後藤 寧々

私の住む町、笠松町はとてもあいさつをしてくださる方が多く、顔みしりでなくてもあいさつを通して繋がれるってとても素てきだしそんな町に住めてとても私は幸せ者です!いつも元気をありがとうございます!

優秀賞 『車いすと町』

笠松中学校1年 福嶋 葉月

僕のおばあちゃんは、車いすに乗っています。旅行に出かけたとき、段差など、バリアフリーになっていない所が多くて、大変でした。僕の住む町でも車いすに優しい町になってほしいなと思いました。

優秀賞 『あったかい地域』

笠松中学校2年 橋口 和奏

地域の祭の日、入り口や周囲を見守ってくれたり、優しく声をかけてくれる人達。子供達が手を出しやすい100円以下で買えたり遊べたりする地域の人達、おまけと一緒に成功を喜んでくれる人達。あったかい地域の人達です。

佳作 『思いやりのあいさつ』

笠松中学校1年 西垣 優奈

私の通学路にはいつもふれあいたいさんがいて、あいさつをしてくれています。そのふれあいたいさんは、自転車の人や車にもあいさつをしています。聞こえているか分からないのにしていることが思いやりだと感じました。

佳作 『「ありがとう」』

笠松中学校2年 星野 友希

先日、段差が乗り越えられない車椅子を見かけそっと手を添えたら「ありがとう」と笑顔が返ってきました。相手の気持ちになって行動したことで、お互いの心をあたたくすることができたのかなあと感じました。

佳作 『夏の思い出』

笠松中学校2年 山田 佳苗

私は祭りのボランティアへ参加しました。初めは緊張してうまくできなくて不安だったけど、地域の方が優しく教えてくださったので徐々に自分からありがとうございました。と声をかけることができました。

あたたかい善意のこころ

皆さんよりお寄せいただきました「あたたかい善意のこころ」は、地域福祉事業に役立てさせていただきます。(12月13日～2月13日) (順不同)

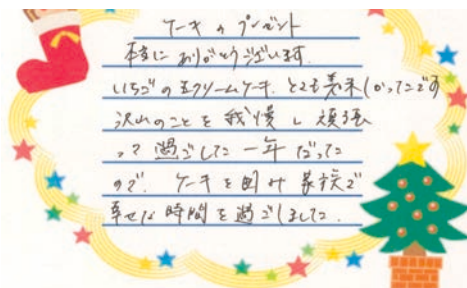
匿名 金 14,000円

匿名 お米 10Kg

70世帯にクリスマスケーキをお渡ししました ～歳末たすけあい配分金事業～

皆さんからご協力いただきました、歳末たすけあい募金を活用し、希望する就学援助世帯の70世帯にクリスマスケーキをお渡しすることができました。

皆さんの温かいご寄付、昨年に引き続き、クリスマスケーキを作っていただいた「パティスリー小菊さん(八幡町)」、ありがとうございました。



施設サービスの案内



- デイサービス
- グループホーム
- 予防リハビリ
- 居宅介護支援事業所
- 小規模多機能

入浴、食事、レクリエーション等充実した楽しい一日をご提供します。
認知症の方の「もう一つの家」として24時間体制でお世話させていただきます。
体を動かし、頭を働かせ身体の機能回復を図ります。
介護に関してのご相談を専門スタッフがご受け致します。
デイサービス・泊まり・訪問介護の組み合わせにより24時間サポートをします。



入居受付中

〒501-6047 岐阜県羽島郡笠松町二見町15-1 笠松駅前 TEL.058-387-7101

※介護保険サービスです

お世話にならないための
体づくりを始めましょう！

体操教室



アクティブでできる事

- ご自宅まで送迎
- 健康チェック
- しっかり運動
- コーヒータイム・楽しくおしゃべり
- 帰宅途中に買い物に行きます。(希望者のみ)

90分～
約650円/回～

めざせ！
生涯自立

改善・予防のため、体力のある今から
一緒に運動しましょう！

運動も仲間がいると楽しいです！
運動後のコーヒーは美味しいです！

アクティブトレーニングセンター

お気軽に お問い合わせください

058-387-0054

無料体験
お待ちしております！

【受付時間】 9:00～17:00

URL : <https://active-training.center/> 住所 : 笠松町門間46-2



笠松町 介護予防・日常生活支援総合事業 指定事業者

★財源確保のため広告を掲載しています。広告の内容に関する問い合わせは直接広告主へお願いします。
また、広告掲載を希望される方は、本会(☎387-5332)までお問い合わせください